

2021年 4月 25日

団体名 白梅学園大学小平学・まちづくり研究所.....

代表者・役職名 氏名 所長 山路憲夫

1. 助成プロジェクト名

ほっとサロンこだいら ——引きこもりの居場所づくりと相談支援

2. 実施団体の概要（創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで）

小平市の総合的研究・調査を通して、小平学の構築、それにより同市でのまちづくりを進めることを目的に2016年末設立、14回にわたる研究会や市民公開シンポジウムを開催、2018年9月には「小平学・まちづくり研究のフロンティア」も出版した。会員数は「小平西地区ネットワーク」の地域住民ら10人。

3. プロジェクトの目的とその背景（※応募申請書に記載のものでも可） 250文字程度まで

子どもから高齢者まで引きこもりを続ける人々も潜在的にはきわめて多いのではといわれている。実態がわからないこと、当事者、家族からの相談が寄せられるケースも限られることなどから、その対策はどの地域も十分ではない。フリースクールの取り組みは全国でまだまだ数少なく、小平市ではいまだ作られていない。中高年の引きこもりはさらに実態がわかりにくい。居場所づくりを始めとする地域で支える体制づくりはまだこれからである。小平市で引きこもりの家族の会(準備会)が発足したこともあり、それを基にニーズを発掘し、それを支援していくコーディネート役割はきわめて重要であり、その役割を果たしていきたい。

4. プロジェクトの内容（※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可） 300文字程度まで

引きこもり本人と家族や支援者を対象に、学習会の開催、相談支援、居場所づくりを目指す場を立ち上げる。2019 昨年末小平市で家族会(仮称)が発足、月一回の例会の際に、引きこもり、不登校、発達障害などを専攻、引きこもり支援にも取り組む白梅学園大学、東京学芸大学教員らの専門家による学習会を開催、個別の相談にも応じられる取り組みも徐々に進め、居場所づくりにつなげ、引きこもり本人、家族の支援に取り組む。当初の計画では家族の会例会に合わせ4～5回の学習会、相談支援の場を作る予定だったが、新型コロナの影響で、3回の学習会の開催にとどまった。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

学習会は以下の2回にわたる開催にとどまったが、2回とも30人を超える引きこもりの家族、市民、専門職、行政の関係者が参加。

第一回「引きこもりからの回復に向けて」福井里江・東京学芸大学准教授(教育心理学)

第二回「どう支援していくか」長谷川俊雄・白梅学園大学子ども学部教授(社会福祉・ひきこもり問題)

いずれも、家族にとって直面している現実の意味と解決策につながる知見を明らかにして頂いた。さまざまな悩み、課題もその中で議論され、家族や関係者にとって、今後のあり方を考える場となったとの評価を得られた。

不登校対策としてのフリースクールについては実践に関わる増田修治・白梅学園大学子ども学部教授(学級経営論)を講師に、関係者による勉強会も開いた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

引きこもりについての研究者、専門職が関わることで、できるだけきちんとした認識をまず深める。研究者や社会福祉法人「つむぎ」の専門職も関わり、できるだけ相談支援もニーズに合わせて広げ、将来的には引きこもり、家族らも日常的に集える居場所づくりを目指したい。専門職や地域での様々な人との関わり、相談の場を作ることが引きこもりの当事者、家族にとっての課題解決につながる。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料 あり ・ 特になし



こだいら不登校・ひきこもり
第14回 家族会準備会のご案内
学習・相談会 「どう支援していくか」
講師 長谷川 俊雄 教授 (白梅学園大学)

こだいら不登校・ひきこもり家族会準備会は、主に小平市内在住の不登校・ひきこもり・発達障がい等、生きづらさを抱えるご本人及びその家族等が自主的に集まり、地域に根差し、社会資源と連携しながら懇談会活動等を行っていき支え合い団体（家族会）をめざして、平成31年3月に立上がりました。

これまで、市内及び近隣地域にお住いの生きづらさを抱えたご本人及びご家族が出会い、互いに同じ立場として想いを分かち合いながら、ありのままの自分を受けとめてくれる居場所として会を重ね、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う休止を経て、消毒や換気、密を避ける等の工夫の元、再開しております。

さて、今回月1回の定例会のうち、9月～来年3月の期間中、隔月で学習・相談会を開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。この機会に、ぜひお越しください。

【第1回学習・相談会】

近隣地域
参加大歓迎！

日時：9月5日（土） 13：30～16：30

会場：小平市福祉会館 **3階 第1集会室**

（アクセス：西武多摩湖線「青梅街道駅」下車 徒歩7分、駐車場有）

内容：●講師による学習・相談会

●参加者同士の分かち合い ほか

講師：長谷川 俊雄 さん（白梅学園大学 教授）

参加費：無料※今後検討予定

対象者：不登校、ひきこもり等の生きづらさのあるご本人及びそのご家族に限ります。

感染症拡大防止に向けて：

マスク着用、水分の各自ご持参のご協力をお願いします。

その他：

★事前申込不要です。直接会場にお越しください。

★途中参加・退席可。近隣地域からのご参加も大歓迎です！

★お聞きした個人情報については、参加者及び見学者等全員に守秘義務を徹底していただきます。

★会場につきましては、**毎回調整**しています。

★関係機関のご見学につきましては、ご相談ください。

【協力】真如苑「Shinjo プロジェクト」市民活動助成

【問合せ】

（社福）小平市社会福祉協議会 地域福祉推進課

こだいら生活相談支援センター（上原・北沢・藤田）

☎：042-349-0151、FAX：042-349-0152

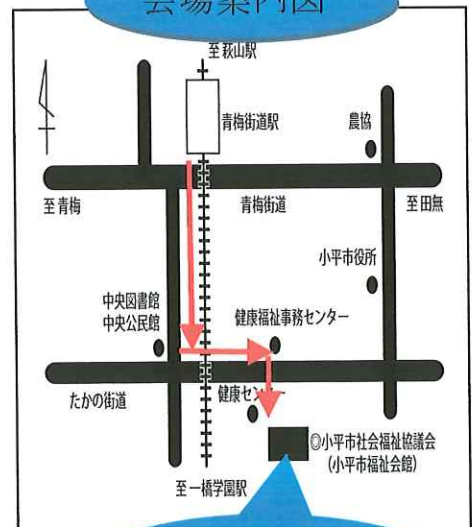
e-mail：vc7@syakaifukushi.kodaira.tokyo.jp

参加者の声

- 参加者が、心の底から話しています。
- この家族会の存在で「みんなそれぞれ同じような思いをしているんだな」と感じて救われました。
- 一番つらいわたしたちの気持ちに寄り添ってくれる。
- 「ああしなければ」「こうしなければ」といった義務は何もありません。
- 当事者の親のプライバシーが保たれています。

★会の存在だけでも
知ってほしい！

会場案内図



小平市福祉会館
青梅街道駅徒歩7分



こだいら不登校・ひきこもり 第16回 家族会準備会のご案内 学習・相談会「 」

講師 福井 里江さん（東京学芸大学 准教授）

こだいら不登校・ひきこもり家族会準備会は、主に小平市内在住の不登校・ひきこもり・発達障がい等、生きづらさを抱えるご本人及びその家族等が自主的に集まり、地域に根差し、社会資源と連携しながら懇談会活動等を行っていき支え合い団体（家族会）をめざして、平成31年3月に立ち上がりました。

これまで、市内及び近隣地域にお住いの生きづらさを抱えたご本人及びご家族が出会い、互いに同じ立場として想いを分かち合いながら、ありのままの自分を受けとめてくれる居場所として会を重ね、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う休止を経て、消毒や換気、密を避ける等の工夫の元、再開しております。

さて、今回月1回の定例会のうち、来年3月までの期間中、隔月で学習・相談会を開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。この機会に、ぜひお越しください。

【第2回学習・相談会】

近隣地域
参加大歓迎！

日時：11月21日（土） 13:30～16:30

会場：小平市福祉会館 **3階 第1集会室**

（アクセス：西武多摩湖線「青梅街道駅」下車 徒歩7分、駐車場有）

内容：●講師による学習・相談会

●参加者同士の分かち合い ほか

講師：福井 里江さん（東京学芸大学准教授）

参加費：無料※今後検討予定

対象者：不登校、ひきこもり等の生きづらさのあるご本人及びそのご家族に限ります。

感染症拡大防止に向けて：

マスク着用、水分の各自ご持参のご協力をお願いします。

その他：

★事前申込不要です。直接会場にお越しください。

★途中参加・退席可。近隣地域からのご参加も大歓迎です！

★お聞きした個人情報については、参加者及び見学者等全員に守秘義務を徹底していただきます。

★会場につきましては、**毎回調整**しています。

★関係機関のご見学につきましては、ご相談ください。

【協力】真如苑まちづくり助成財団

【問合せ】

（社福）小平市社会福祉協議会 地域福祉推進課

こだいら生活相談支援センター（上原・北沢・藤田）

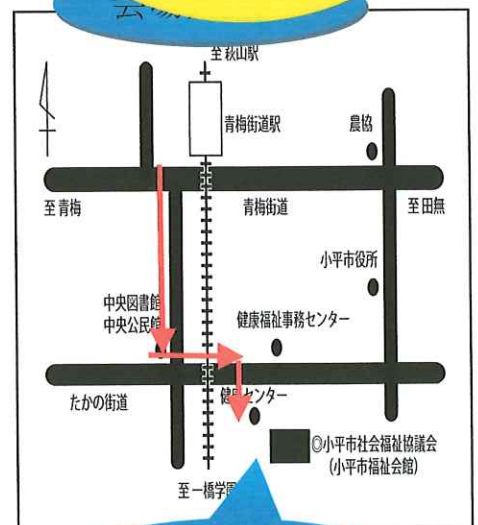
☎：042-349-0151、FAX：042-349-0152

e-mail：vc7@syakaifukushi.kodaira.tokyo.jp

参加者の声

- 参加者が、心の底から話しています。
- この家族会の存在で「みんなそれぞれ同じような思いをしているんだな」と感じて救われました。
- 一番つらいわたしたちの気持ちに寄り添ってくれる。
- 「ああしなければ」「こうしなければ」といった義務は何もありません。
- 当事者の親のプライバシーが保たれています。

★この会の存在だけでも
知ってほしい！



小平市福祉会館
青梅街道駅徒歩7分